

蓮田松韻進路だより

平成28年度 第1号

2016.4.14

昨年度の進路状況

27年度	大学	短大	専門	就職	未定	計	決定率
全体	17	10	53	87	27	194	86.1%
男	10	1	30	29	4	74	94.6%
女	7	9	23	58	23	120	80.8%

※ただし、未定には進学・就職以外の進路の者も含む

上の表は、この3月に卒業した松韻4期生の進路決定状況です。昨年度の特徴としては、就職希望者の中に2月になってから本格的に活動を開始した生徒が10名ほどいたことで、最後になって進路が決まる生徒が多かったことです。あきらめずに最後まで頑張れば結果はついてきますので、そのことを忘れないで下さい。

1・2年次生はもちろんですが、3年次生でもまだ自分の進路についていろいろと悩んでいる人も多いと思います。進学はお金がかかるから就職と考えている人、やりたい仕事はありますか？無理に就職してもすぐにやめてしまったら元も子もありません。大学や専門学校で努力をすれば、多くのケースで、やりたい仕事に就ける可能性は今よりもはるかに高くなります。生涯で得られる賃金にも明確な差が出ます。長い目で見れば、そのほうが家計を助けることにもつながります。入学金や学費などは確かに大きな負担になりますが、早い段階で準備を始めれば何とかできます。簡単にあきらめないで下さい。

進路についての悩みは、早めに保護者や担任、あるいは進路の教員に相談をするようにして下さい。

基礎力診断テストの実施について

5月2日に全学年で英数国3教科の基礎力診断テストを実施します。3年前から導入したテストで、3年次生はこれが最後になります。実施後にはAから始まる21段階学習到達ゾーンの診断が出ますが、D2レベル（最低D3レベル）以上であれば、進学、就職どちらでも可能性が大きく広がります。

ただ受けるだけでは意味がありません。事前学習(One-Weekトライアル)への取り組みが必ず結果に反映します。ぜひ努力をして、自分の学習到達ゾーンを一段階アップさせて下さい。

1、2年次生は3学期にも基礎力診断テスト(第2回)を実施します。1回目よりもステップアップをするためには、朝自習や日々の授業にしっかり取り組むこと、日常的に家庭学習を行うことが重要です。結果は、5月末頃の予定です。

今後の進路選択において重要なこと

大学や短大、専門学校を受験する場合、本校の生徒の多くは AO 入試や推薦入試を活用しています。昨年度は一般入試でのチャレンジは、看護の専門学校だけでした。また、例年に比べ AO 入試での受験が多かったのが特徴です。

まず、AO 入試ですが、進学先へのエントリーが早い学校だと 5 月から始まってしまいます。すぐに準備を始めないと間に合いません。早めの準備が大切です。

次に推薦入試を希望する場合ですが、大学や短大、専門学校が設定する推薦基準を満たすことはもちろん必要ですが、本校の推薦基準を満たすことも条件となります。また、今年度の 1 年次生からより細かく欠席日数などの条件が設定されます。（詳しいことは、後日説明があります。）推薦は、学校長の名で「蓮田松韻高校で有意義な高校生活を送った生徒であり、入学後もしっかり勉学に励める生徒である」と保証することです。蓮田松韻高校として、いい加減な生徒を推薦する訳にはいきません。卒業後も努力を続け、しっかりと学業に取り組むことのできる生徒を推薦したいのです。入学後の学生生活がおろそかになれば、君たちを推薦した蓮田松韻高校が信用を失い、後に続く後輩たちの推薦入学を受け入れてもらえなくなるかもしれません。推薦を希望する場合は、一般受験での進学に比べ、はるかに大きな使命と責任と負うものであることを十分に自覚してこれからの学校生活を送ってください。

そして就職についてですが、「勉強するのがイヤだから就職」と考えている場合はかなり厳しくなります。就職試験や実際に就職した後も基礎学力や一般常識は重要になります。学力が不足していると感じている人は、朝自習や普段の授業にしっかりと取り組んでみて下さい。また、永く仕事が続けられるように、自分自身をよく理解し、自分にあった仕事を見つけして下さい。

(進路指導主事)